

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かおるかぜ				公表日	令和7年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		その日に利用される利用者様の特性に合わせて部屋を使い分けしている。	利用者様がパニックを起こした際の部屋の使い分けについて初動を素早く行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		送迎に向かう職員と部屋に残る職員を利用者様の状態に合わせて調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内はバリアフリーに配慮した構造である。静と動を意識した部屋の使い分けを徹底している。	活動に使用する机の高さを調整できるタイプへの変更を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		加湿器・空気清浄器を設置している。送迎車も毎日掃除している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		学習・静養・読書等は部屋を使い分けしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		日々の関りの中で得られるねらいと振り返りを記録に残し職員間で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価結果の中から取り組むべき事項を職員間で共有し、取り組んでいる。	非常勤職員にも検討段階からの参画を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々のミーティングの際に意見を求めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在、第三者による外部評価は行っていない。	必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内で毎月、勉強会を開催している。外部研修への参加も促している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		各職員へ配布し、共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		職員の意見を踏まえた上で作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援作成検討会を開催している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		常に閲覧できるようにファイルにまとめており、支援に役立てている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントツールを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		適切に作成され、具体的な支援内容が設定されている。	家族支援・移行支援・地域支援、地域連携の充実。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		実施前に打ち合わせを行い、必要に応じて修正・変更を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		ステップアップできるプログラムを意識した内容を心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		成長に合わせた個別活動を適宜提供し、集団活動は毎日行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	振り返りを踏まえた上で、その日の支援内容をミーティングで共有している。	早帰りの児童が登所する際、出勤時間が遅い非常勤職員への引継ぎが簡素化される場合がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8		送迎後、又は翌日の午前中に振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		利用者様一人一人のファイルが作成されており、支援経過記録として記載されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6ヶ月に一回又は、必要に応じて行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		保護者様の意向を確認しながら行っている。	地域交流活動を充実させる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自身の意見を発信できることから取り組んでおり、こども会議も開催している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		支援員の意見を聴取した上で、主に自発官が参加している。	各専門職や支援員の参加
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		所在する区の自立支援協議会に参加し、各機関との連携を図っている。	連携した支援に至ったケースがない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		予定に関しては保護者を通じて把握している。送迎時の対応やトラブルに関する対応は、電話や文書で行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	入学時の引継ぎのタイミングで連絡を取りあう場合があるが、保護者を介して行うケースが多い。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		必要に応じて対応している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	一度訪問していただき、助言をいただくことができた。以降、定期的に研修の案内等をいただいている。	積極的に交流を深めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		室外活動の際に交流がある。近くの事業所とは合同でイベントを行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		協議会のイベントも含め積極的に参加している。以前は役員も経験させていただいた。	他の職種の参加が課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の連絡帳を活用したり、送迎の際に情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者交流会の際に、テーマに添った内容の研修会を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		ご契約いただく際に説明をさせていただいている。またご相談があった際は適宜説明させていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個人面談の開催等の中で、情報収集を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画書をお届けする際に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		ご相談いただいた際に対応させていただいている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		一年に一回の頻度で保護者同士の交流を目的とした保護者交流会を開催している。参加出来なかったご家庭には資料を配布している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		ご連絡いただいた際に随時対応させていただいている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	活動の様子や事業所からのお知らせに関しては連絡帳アプリにて発信している。	定期的な発信には至っていない為、取り組みについては自己評価総括表に記載している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報に関わる書類については、施錠できる書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		連絡手段として、専用アプリやメール・電話にて対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	七夕祭りや、クリスマスコンサート等地域の行事にさんかしているが、事業所の行事に招待することはできていない。	保護者様からの要望があれば、住民の招待などを検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルに加えて個人避難計画書も作成しており、避難訓練も年一回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		計画書を作成し、適宜見直しを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		見学時や契約時にご家族へ確認させていただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		見学時や契約時にご家族へ確認させていただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		活動で使用するハサミ等は施錠できるロッカーで管理し、安全管理に配慮している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急時の連絡先やかかりつけ医の確認を行っており、連携がとれやすい取り組みを行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		必要に応じてヒヤリハット・事故報告書を作成し、再発防止に繋がる話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		委員会を設置し、定期的に研修を行い理解を深める取り組みを行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		委員会を設置し、定期的に研修を行い理解を深める取り組みを行っている。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かおるかぜ

公表日 令和7年 3月 27日

利用児童数

22名 (18家庭)

回収数

14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				トランポリンなど体を使って遊べる遊具があればいいと思います	体を使って遊べる遊具に関しては安全を考慮しながら検討致します。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	記載なし	加配職員を配置しておりますので、基準以上の職員を配置させていただいております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				記載なし		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				記載なし		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			記載なし	これまで以上に特性に応じた対応を心掛けて参ります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				記載なし		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				記載なし		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				記載なし		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				記載なし		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				1	記載なし	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1	1		5	他の放デイと合同で行事イベントを企画、開催されていて今後も機会があればよい	合同でのイベントに関しては今後も継続し、交流の場を広げて参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				記載なし		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				はっきり覚えていません	ご納得いただける様なご説明を心掛けて参ります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11		1		2	日々の送迎時にアドバイスをいただけるので助かっています	可能な限り情報提供させていただいておりますが、全てのご家庭にご満足いただけるよう心掛けて参ります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					・連絡帳も丁寧に記入していただき引き渡しも細かく説明があり対応なども早くしてもらっています ・送迎時に子どもの様子を伝えていただき子ども自身も喜んでおります	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2				・都度相談させていただいています ・定期的ではないですがこちらから必要な時にお願ひすれば助言をいただきます ・家庭では気付かない子供の良い面を教	可能な限り情報提供させていただいておりますが、全てのご家庭にご満足いただけるよう心掛けて参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					とても相談しやすく信頼できるスタッフの方が多いので嬉しいです	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11				2	※未回答 1	今年度は令和7年3月20日に保護者交流会を開催させていただきました。継続して開催して参ります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					送迎時にご相談させていただく際にとても親身に話を聞いて下さり保護者のサポートもしっかりしていただけるのでとても感謝しております。	今後も相談し易い体制の向上に努めて参ります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			毎回の送迎時にしっかりコミュニケーションが取れていると思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	3	記載なし	連絡帳アプリを利用して配信させていただいておりますが、偏りがありますので、改善させていただきます。自己評価総括表に今後の課題として対策を記載させていただきました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13		1	記載なし	全ての方に安心いただけるよう努めて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8		6	実施されたかどうか覚えていません	毎年開催させていただいておりますが、開催日に偏りがあり、ご参加いただけなかった利用者様に周知できておりませんでした。自己評価総括表に今後の課題として対策を記載させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		6	実施されたかどうか覚えていません ※未回答 1	毎年開催させていただいておりますが、開催日に偏りがあり、ご参加いただけなかった利用者様に周知できておりませんでした。自己評価総括表に今後の課題として対策を記載させていただきました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		2	記載なし	全ての方が安心してご利用いただけるよう支援・周知方法を改善致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12		2	小さな怪我でも詳細に連絡いただき適切な対処をしていただいております	全ての方が安心してご利用いただけるよう支援・周知方法を改善致します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			・いつも安心して通わせていただいております ・通所を毎回楽しみにしており、「将来はかおるかぜの先生になりたい」と将来の目標になっています	何より嬉しいお言葉をいただきありがとうございます。今後も利用者様にとって安心して過ごせる良き存在でいられるよう職員一同努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		・毎回、とても楽しみにしています。 ・好きなことに取り組む時間をたくさん作っていただいたおかげで、以前より何事に対しても集中して取り組むことが出来るようになりました。以前よりも自信が付き、いろいろなことに挑戦することが出来るようになりました。	日ごろの活動が生活の楽しみに繋がる支援や、楽しい事がより楽しくなる事を心がけ、今後も活動に反映させながら支援を提供させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			・いつもありがとうございます。 これからもよろしく願っています ・大変満足しています	面談等で得られるご意見を支援に反映させ、今後もご満足いただける支援を提供させていただきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かおるかせ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日 ～ 令和7年3月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日 ～ 令和7年3月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎週テーマに添った活動を企画し、個人にあわせた目標を設定し活動に取り組んでいる。	ゲーム・運動・知育・制作活動といったテーマのもと、季節感や社会情勢に添ったプログラムを立案している。 連続して登所される利用者様が同じ活動にならない様に配慮している。 各活動ごとに評価表を作成し振り返りを行っている。	利用者様と一緒に活動の振り返りを行う時間を設け、活動内容の見直しや、改善に努めていく中で更に利用者様を主体とした活動にしていきたい。
2	年齢層が幅広く各々の役割を求めた活動に取り組んでいる。	低学年の利用者様は、まず高学年の利用者様に相談できる環境を整えてなるべく子ども同士で解決策を見出す練習を行っている。※必要に応じて職員が介入する。 高学年の利用者様は意見をまとめ、職員に相談し問題解決方法を見出す練習を行っている。	朝の会や、帰りの会の司会など役割の範囲を広げて、小集団をまとめていく練習や主体的に行動をおこす習慣が得られる活動にしていきたい。
3	心理師の資格を持つ職員を配置しており、気持ちの整理や表現について取り組んでいる。	意見の食い違いや、トラブルに発展した際に双方の意見を聞き相手がどのような気持ちだったのか？自分の受け取り方が正しかったのか？等、冷静に振り返る時間を設けている。	今後も職員間で幅広く共有し、子どもの理解や支援に役立てていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を写真や動画で保護者様へ定期的に配信することができていない。	送迎時の引継ぎに時間がかかり、帰所後に改めて配信用の活動の様子をまとめる時間が設けられていない。 職員の配置が多い等、時間的に余裕がある時は配信できている。	業務内容を整理し、職員に時間的余裕をつくる。 配信の必要性を共有し業務の一部として位置づける。
2	避難訓練の開催日が限られており、参加できる利用者様と参加できない利用者様に偏りがある。	中高生の利用者様の下校時間が遅く、平日の開催が難しいとの考えから土曜日に行っていた。	長期の休校中を利用し、開催日を検討する。 平日開催においてもご家族へ事前に連絡し、宿題ができない事等の案内を行い、柔軟に開催日を設定し全ての利用者様が参加できる体制を考えていきたい。
3			